



令和3年5月28日

報道各位

大阪教育大学

令和3年度 大阪教育大学「学校安全の日」(6月8日)における
附属池田小学校行事及び大学の事業実施について
—事件から20年を迎えて—

平素より、本学事業へのご理解とご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。

事件から20年を迎える本年も、6月8日(火)に附属池田小学校において、学校行事として「祈りと誓いの集い」を行います。

また、大学では、授業において教員から学生に対して事件の概要を伝え、事件とその教訓を学ぶ「事件を語り伝える事業」に取り組んできたところです。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の延長に伴う大学の活動基準の変更により、実施形態が流動的であるため、「事件を語り伝える事業」については6月初めを目途に配信する予定です。

さらに、本件については、「事件を語り伝える事業」に限らず、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容の一部を変更することがあることも申し添えます。

1. 「祈りと誓いの集い」について

- (1) 日時 令和3年6月8日(火) 10:12~10:45
- (2) 会場 附属池田小学校「祈りと誓いの塔」周辺
校長: 眞田 巧(マダ タカシ)
- (3) 参加者 ご遺族、6年生、各学級代表児童、教職員、大学関係者

2. 「大学の事業」について

事件から20年を迎え、本学がこれからも事件を過去のものとし、事件の教訓を広く社会に伝え、深刻化する我が国の学校安全の課題に先導的な役割を果たし続けていくために、まず本学の教職員が事件への認識を新たに、教師をめざす学生とともに、学校における幼児児童生徒の安全確保への認識を深める地道な取組を進めていくことが重要です。本年度も、平成18年度から取り組んできた「事件を語り伝える事業」を継続し、教職員と学生が一体となって、全学規模で附属池田小学校事件を振り返り、学校安全への決意を新たにします。

○ 事業内容

担当教員から学生に対して、附属池田小学校事件の概要を伝え、事件とその教訓を学ばせ、これによって、教師をめざす学生に幼児・児童・生徒の安全確保と学校安全の重要性への認識と自覚を深めさせることを目的としています。

なお、「事件を語り伝える事業」については、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の延長に伴う大学の活動基準の変更により、実施形態が流動的であるため、6月初めを目途に配信する予定です。